

C U C 地域志向活動報告

2024年5月～2025年2月

事業名 日本語を母国語としない子どものための学習支援事業

団体名 認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会 (ESCO)

Educational Support for Children from Overseas

I . E S C O のご紹介

- 目的：外国ルーツの子どもたちへの日本語指導・学習支援を通じ、子どもたちの真の自立を支援する
- 1996年にスタート、全て地域住民のボランティアで運営
- 松戸市内3か所で小中生を対象に週次運営で6教室を開催、夏休み教室(小中)・受験教室(中3)の特別教室も開催
- 交流活動：卒業生と話す会、親子会、進学卒業祝いバス旅行

2. 勉強会の活動内容

→原則1対1で対応、土曜午後教室新設、初級日本語指導セミナー実施

2024年7月現在 週次定例教室の生徒数66名・スタッフ数62名



文化ホール教室	土曜	中学生対象	2時間
常盤平教室	火曜	小学生対象	1.5時間
	木曜	中学生対象	2時間
	土曜午前	小学生対象	1.5時間
	土曜午後	小学生対象	1.5時間 (2023年9月開設)



新松戸教室	水曜	小・中学生対象	
夏休み教室	5日連続	小・中学生対象	
受験教室	2・3学期日曜	中学3年生対象	

・・・ここで「ESCO活動の紹介ビデオ」（約5分）をご覧ください

3. 助成金申請の背景

- 外国籍市民数・世帯数の増加に伴い、日本語を母語としない子どもが増加、受入拡大へ運営経費も増加
- 学生ボランティアへの参加促進、地域への当会活動広報の好機（広報：会報発行・HP充実・セミナー開催）

4. 助成金の活用例

- 教室新設、既存教室の生徒増によりスタッフを増加
→ 当会主要経費のスタッフ交通費への充当
- スタッフ研修会の開催（外部講師招聘、自主勉強会）
→ 講師講演料・参加スタッフ交通費への充当

5. 今後の展望

- 課題の運営費確保は、諸経費の見直しや削減を実施中、生徒授業料増額（年9,000円から年11,000円）も今後検討の予定、助成金を体制が整うまでの対策として活用
- 当会活動を通じ、機会を捉えて多文化共生を地域に訴求、生徒増への対応・教室会場確保・広報推進等の活動を、地域社会の協力を得つつ、地道に継続してまいりたい

．．．ご清聴ありがとうございました



認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会

ESCO : Education Support for Children from Overseas